

未来を築くユース会議2017～“対立”と向き合う～

第4回 総集編 対立を越え・平和を創る

- 日時：2017年11月11日（木） 10時14分～16時28分
- 場所：あいち国際プラザB101会議室
- 参加者：12人
- ファシリテーター：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、記録：吉岡嗣晃（同左）
- 全体（全4回）のねらい
 - 対立とは何か、対立の定義や特徴などについて学び、対立という視点から世界と日本をふりかえる。
 - 社会で起きている様々な対立の原因を探り、対立解決のために必要なものや役立つことを考える。
 - 非暴力で建設的に対立を解決するスキルについて学び、より大きな対立解決に活かせるようになる。
 - 自分たちの未来を自分たちの手で仲間と共に実現していくユース・モデルとなる。
- 第4回のねらい
 - ① 対立を越えて平和を創るために、国ができること、仲間とできること、個人でできることを考える。
 - ② ピース・ビルダーとして、ここで学んだことをどう社会につなげていきたいか、共に考える。
 - ③ 共に学び合いつながった仲間として、互いの貢献に感謝し、今後に向けてエールを贈りあう。
- プログラム

1. 最終回のねらいの確認とここまでのふりかえり
2. アイスブレイキング「自己紹介」（カクテルパーティ方式）
3. グループ替えと自己紹介
4. 第1回～第3回のことを共有しよう！
5. 対立を理解しよう！
6. なぜ対立、戦争は起きるのか、なくなるのか
7. グループ替えと自己紹介
8. 秋葉原事件から考える、私たちの社会と人権
～お昼休み（ケータリングパーティ！）～
9. グループ替えと自己紹介
10. わたしが今変えたいこと！
11. SDGsと17のゴール（資料で読み解く）
12. SDGsを分類してみよう
13. 身近な課題とSDGs
14. 対立を越えて平和を創るには？ ～ワールドカフェ方式～
15. 全体ふりかえり&行動宣言

● 記録

[] : 所要時間

■ 1. 最終回のねらいの確認とここまでのふりかえり 10:14 - [6]

- 会議のねらいの説明…ファシリテーターを務めるNIED・国際理解教育センターの伊沢代表が、本会議全体の目的について説明した。その後、YAF(ユースアクションフォーフェューチャー)の紹介をして、本日のテーマ「対立を越える」とねらい「ピースビルダー (平和を創りだす人) になるために」を確認した。

■ 2. アイスブレイキング「自己紹介」(カクテルパーティ方式) 10:20 - [25]

- 参加者アンケート…第1～3回のどれに参加していたかアンケートをとった。
第1回参加者：5人、第2回参加者：4人、
第3回参加者：2人、皆勤：1人 8名でスタート！
- 自己紹介…各自、呼ばれたい名前とわたしはこんな人 (5項目) をA4用紙に書き、歩き回ってペアになり、カクテルパーティ方式でじっくりと自己紹介を行った。



■ 3. グループ替えと自己紹介 10:45 - [7]

- 参加者アンケート…遅れてきた2名分も参加回のアンケートをとった。
第1回参加者：7人、第2回参加者：4人、第3回参加者：4人、皆勤：1人
- グループ替え…1～3の番号を振り、同じ番号の人同士でグループになった。
- 自己紹介…「わたしはこんな人 (3項目)」をお題に、グループ内で自己紹介を行った。

■ 4. 第1回～第3回のことを共有しよう！ 10:52 - [35]

- 第1～3回の記録の確認と共有…グループ内で各自の担当回を決めて、分担して記録を読み、それぞれが各回の内容を要約して共有した。
- 気付いたこと・感じたことの共有…これまで3回を通しての感想をグループ内で話し合い、全体で共有した。



感想の発表内容

- ◇「怒りのメーター」…人によって怒りのメーターが違うことを知ることで、対立が考えやすくなった。
- ◇「5つのC」…偏見が対立に直結していることを知っておくべき。
- ◇3つの伝え方 (スネ夫、ジャイアン、しずかちゃん) はスキルとして身につけておくべき。
- ◇グループ内に全回参加者はいなかったが、全部来たかった。
- ◇年齢の違う人と触れ合うと新鮮な感覚に触れることができる。これは年齢の違いが要因なのだろうか？
- ◇身近な対立から世界の対立のつなぎの回に参加できたらよかった。
- ◇多様だからこそ起こる対立なので、激化する前に止めることが大事。

5. 対立を理解しよう！ 11:27 - [13]

- ファシリテーターコメント…今日は世界の対立について考えていく。参加者のみんなには「ピースビルダー＝平和を創り出す人」になって欲しい。壮大なことを考えているようだが、身近なものも世界規模の戦争も根底は同じ。まずは自分の身の回りで出来ることから始めることが大切。
- 「対立は悪くない！～対立から学び対立を越える～」…配布資料をじっくり読み、「対立の定義」「対立の特徴」「対立の種類」「対立の原因」を確認した。対立自体が悪いのではなく、出会った時にどう扱うかが重要。
- ファシリテーターコメント…「戦争がなくなるのは戦争することで儲かる人・国がある」という話がある。日本もアメリカからオスプレイを購入している。わたしたちの預けている銀行がどのように運用しているのか、払った税金がどのように使われているのかを知り、行動することで戦争を支える構造を崩す一助になり得る。

6. なぜ対立、戦争は起きるのか、なくなるのか 11:40 - [25]

- 最近気になる対立…最近気になる「対立」「争い」「暴力」をグループ内で共有し、「ポップコーン方式」で全体共有した。

発表内容

北方領土、北朝鮮、中国、9人殺害事件、中国の卓球（外国人排除）、国会で争う人々、テイングラム、ミャンマーのロヒンギャ、IS、沖縄基地問題、アメリカの銃、韓国の慰安婦

- 対立の原因（因果関係図）…「対立、戦争が起きる原因、なくなる原因」、「原因の原因」について因果関係図を使って考えた。
- 全体共有…ギャラリー方式で他グループの模造紙を共有した。
- ファシリテーターコメント…こんなに原因を出せたみなさんは素晴らしい。なぜなら原因がわかれば解決することができるから。原因がわからないと解決することができないので、原因を探ることが解決への第1歩。これは後でやるワールドカフェで使う。



7. グループ替えと自己紹介 12:05 - [6]

- グループ替え…グループ内でじゃんけんをして、勝った人が時計回り、負けた人が反時計回りへ移動をしてグループになった。
- 自己紹介…「わたしはこんな人（3項目）」をお題に、グループ内で自己紹介を行った。

8. 秋葉原事件から考える、私たちの社会と人権 12:11 - [36]

- 秋葉原通り魔事件と加藤被告の状況…2008年に起きた秋葉原通り魔事件とその被告の状況について書かれた配布資料を読み、グループ内で感想を共有した。
- ファシリテーターコメント…これは加藤被告を擁護するのが目的ではない。が、個人に起きていることには必ず社会的な背景がある。＝パーソナル is ポリティカル

- 「何があれば、彼は事件を起こさずに済んだか。」…グループ内で話し合い、全体で共有した。

「何があれば、彼は事件を起こさずに済んだか。」の発表内容

- ◇彼女 ◇相談相手 ◇友人 ◇いい家庭 ◇差別のない会社 ◇自信を与えられる言動ができる人
- ◇言いたいことが言える環境 ◇SNSの正しい使い方 ◇家庭環境を快適にしてくれる学校の先生
- ◇AI (人工知能) ◇小さなしあわせの積み重ね ◇仕事で認められる経験
- ◇(加藤被告の母親のために) 子育ての悩みを共有できる場所

- 午前中のふりかえり…グループ内でそれぞれの感想を共有した。

★ お昼休み (会場を変えて、ケータリングパーティ!) 12:47-[77]

■ 9. グループ替えと自己紹介 14:04-[6]

- グループ替え…グループ内でじゃんけんをして、勝った人が時計回り、負けた人が反時計回りへ移動をしてグループになった。
- 自己紹介…「今日の自己紹介で言っていないこと」2項目をお題に、グループ内で自己紹介を行った。

■ 10. わたしが今変えたいこと! 14:10-[15]

- わたしが今変えたいこと…各自が変えたいと思っていることを、日本と世界に分けてA4用紙に書き出した。
- 変えたいことの共有…それぞれが書いたものから一つ選んで、グループ内で下記を共有した。
 - ① 何を变えたい? (=書き出したもので良い)
 - ② なぜ変えたい?
 - ③ どう変えたい?
- ファシリテーターコメント…変えたいことがあるということは、わたしたちの住んでいる社会は課題のある社会ということ。



■ 11. SDGsと17のゴール(資料で読み解く) 14:25-[29]

- ファシリテーターコメント…世界には共通のゴールというものがある。それはMDGs (2005-2015) → SDGs (2016-2030) というゴール=目標。MDGsは主に途上国の課題に注目するものだったが、SDGsは途上国・先進国、分け隔てなくすべての国で取り組むべき課題として考えられたものである。
- 分担して資料読み…資料「SDGsの17の目標とその背景」(1目標/枚×17枚)を全員で手分けして読み、それぞれ30秒にまとめて全体へ発表することで内容を共有した。



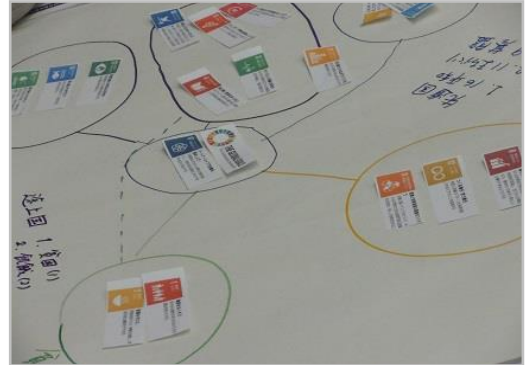
12. SDGsを分類してみよう 14:54- [16]

- 17の目標を分類…グループ内でSDGsの各目標が書かれた17枚のカードを分類して模造紙に並べ、分類ごとにタイトルをつけた。
- 全体共有…模造紙をギャラリー方式で共有した。
- 優先順位付け…グループ内で途上国と先進国がそれぞれ優先して取り組むべき課題を17枚のカードから選び、TOP3を決めた。
- 全体発表…各グループがTOP3を発表した。

発表された課題TOP3に入っていたもの全て

【途上国】 貧困、飢餓、教育、健康、水

【先進国】 エネルギー、働きがい、作る責任、平和と公正、
パートナーシップ、まちづくり、技術革新



13. 身近な課題とSDGs 15:10- [9]

- 身近な課題とSDGsの関係…配布資料「SDGsワークシート」に、身近な課題に対して関連する目標の番号を記入した。身近な課題ごとに分担して記入し、グループ内で共有した。
- ファシリテーターコメント…これからもSDGsというワードを聞くことが増えてくると思うが、内容をちゃんと説明し、身近な課題であることを伝えてあげて欲しい。

14. 対立を越えて平和を創るには? ~ワールドカフェ方式~ 15:19- [46]

- ファシリテーターコメント…ステップ6の成果物「対立が起こる原因」(因果関係図)を見ながら作業をしたい。また、模造紙に書き出すことよりも、話し合うことを優先してほしい。
- ワールドカフェ…お菓子を食べてリラックスしたり、グループ替えを行って多様な意見に触れたりしながら、アイデアを出し合った。(人数の関係で、第2ラウンドまで)
※: 本来のワールドカフェは第3ラウンドまで行うが、人数の関係から今回は第2ラウンドまでとした。

- ① 「対立を越えて平和を創るには、どうしたらいいのだろうか?」を話し合いながら、キーワード・イラストなどをメモ書きのように模造紙に記入した。
- ② カフェマスターを決め、それ以外の人(=ゲスト)は他のグループへ移動。カフェマスターが自分のグループで話したことをゲストに紹介し、ゲストも自分たちのグループの話を紹介した。その上で、新しくアイデア出し(話し合い)をした。
- ③ もとのグループに戻り、各グループで話したことを共有し合った。



- 対立を越え、平和を創るための私たちの提言5つ…グループごとに「対立を越え、平和を創るための提言」を5つ考え、こんなことをしよう！これに取り組もう！こんなものを大切にしよう！というように具体的な行動を肯定的な表現で書き、全体で発表した。



チーム名：ジンギスカン

1. 人の“判断”をしない、押しつけない
＝違いを認める
2. 私たちの経験を共有する場をつくる
3. 言語を必要としない共同体をつくる
4. マスメディアを疑い、「ちゃんとしてよ」と声を挙げる
5. 目安箱、愛とユーモアにあふれたデモやアドボカシー活動をする

チーム名：# (ハッシュタグ)

1. 自分のことを知り、相手のことを考える
2. 様々な情報を取り入れ、正確な情報を知る
3. 積極的に交流する機会を持ち、関心を持つ
4. 相手を尊重する広い心を持つ
5. 考え続ける

チーム名：無し

1. 出会いを大切にする
(好きな人を増やそう)
2. 世界の現状を知る
(びっくりしよう！ドキッとしよう！)
3. 相手を受け入れる
(自分も受け入れてもらおう！)
4. 共有できる何かを探す
(共感しよう！感動を分かち合おう)
5. まずは、身近な人・モノ・事を大切にする
(今からココから私から。)

15. 全体ふりかえり&行動宣言 16:05- [23]

- 感想の共有…全員で円になって座り、一人ひとりが全体に向かってユース会議の感想とこれからこんなことをしていこうという行動宣言をした。円の中心に置いてあるペンを、発表内容が決まった人が持って来て話をするという方法で全員が発表を行った。
- ファシリテーターコメント…参加者の人数は少なかったが、毎回濃い時間を過ごすことができたように思う。一人ひとりがすごい力を持っていることが感じられ、とても希望の持てる仕事に関われたことに感謝している。これからも2017年度ユース会議のメーリングリストを作るなど情報共有の場を作って、ゆるくつながり続けていただけたら嬉しい。
- 修了証授与…主催者の栗木さんから、全4回皆勤参加者（該当者1名）へ修了証を授与した。
- 終わりのあいさつ…主催者の栗木さんが終わりの挨拶を行って終了した。



★16:28 終了 お疲れ様でした！！